

"AZA Roots" Album Release Live

Marcelo Kimura guitar, vocal
Eri Liao vocal
Falcon guitar

2025 **07月26日 (土)**

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替無) (1 drink=600~)

MC=3700+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



FALCON

アコースティックギターを軸にエフェクトを活かした空間的音作りによる独自の奏法が話題を呼び、ウェイウェイ・ウー(二胡)、中西俊博(vn)、カルメン・マキ(vo)、鬼怒無月(g)、マレー飛鳥(vn)等と共演。Eri Liao Trio、残響 SWIFT、サイバー民族団など多数のバンドに参加、CDリリース。自然や風景を描写した作曲、様々な地域の民謡とのコラボレーション、即興演奏を軸にしたダンス、朗読、写真とのコラボレーションなど多様な音楽に取り組む。2019年2nd ソロアルバム"美しき様々の夢"発売。2023年10月にEri Liaoと飛鳥stringsをフォーカスして作詞作曲、アレンジも手掛けて"うた"に取り組んだプロジェクト「ハルカストリングス」の1st album"風の中の夢"を発売。

Marcelo Kimura

1979年ブラジル サンパウロで音楽一家に生まれ、ギタリストである祖父の影響を受け、幼い頃からギターに慣れ親しむ。タトウイで Marcos DelHommo, Pacheco氏よりギターを師事。ショーロ、サンバ、ボサノヴァは勿論、ロックやジャズにも傾倒し、それらをクロスオーバーさせた独自のサウンドスタイルを展開。2009年インストゥルメンタル・サンバ ジャズ・ユニット MISO BANANA を結成し、2010年『Uirapuru』をリリース。サウンドメーカーとしても国内外の多くの有名アーティストより信頼を受け、サウンド提供・アレンジ・レコーディングと幅広くサポートを行う。国内外の有名アーティスト(小野リサ、パウラ・リマなど)との素晴らしいセッションやサウンドを届けるとともに、若手に活動の場を与え育成にも力を入れる。日々意欲的に音楽と向き合い、ソリストとして世界に向け活動中。2013年、ソロ名義初となるアルバム『Morro Do Urbana』をモーションブルー横濱でリリース LIVE を行う。2014年、地元、名古屋ブルーノートにて「マルセロ木村 CD リリース LIVE」を大成功におさめる。2018年 渡辺真夫がメインパーソナリティを務める Nightly Yours で、バンドメンバーとして番組のレコーディングに参加。2018年9月 New album " Samba a Distância " をリリース。2019年フジテレビ『MUSIC FAIR』の特集、松田聖子 JAZZ の世界にギタリストとして参加。「SEIKO JAZZ2」コンサートツアー 2019のギタリストとして全コンサートに参加。2021年6月 渡辺真夫 70th My Dear Life - JAZZ&BOSSA with STRINGS サントリーホールコンサートのギタリストとして全コンサートに参加。同年11月 渡辺真夫 JAZZ & BOSSA Live at Suntory Hall CD のギタリストとして参加。2022年 渡辺真夫 Saudade To Brazil 大阪 Billboard、東京 Blue Note のギタリストとして全コンサートに参加。2022年12月 ハーゲンダッツ TVCM 『ショコラ デュオ』作詞・ギター・歌。2023年 渡辺真夫 Saudade To Brazil Tour のギタリストとして全コンサートに参加。2023年3月 New album Marcelo Kimura & Makiyo Sakai " VIDA " をリリース。2023年10月 SADAO WATANABE MEETS NEW JAPAN PHILHARMONIC のギタリストとして参加。2023~2024 NHK テレ「みいつけた」の新コーナー「おんがくも」に出演中。

Eri Liao

台湾・台北市生まれ。台湾原住民族タイヤル族の母と日本人の父を持ち、両文化をルーツに持つ。東京大学文学部宗教学・宗教史学科卒業(2008年)。同大学大学院を経て、NY・コロンビア大学大学院芸術学部文芸創作コースに編入(のち中退)。在学中、ジャズ・サクソフォーン奏者 Billy Harper のバンドメンバーに抜擢され、プロ歌手としてデビュー。現在は日本と台湾を拠点に、民謡・ジャズ・即興音楽を軸とした表現で活動。ソロのほか、ハルカストリングス、Aza Roots、エリ・リャオ and スパライの風など、さまざまな編成で各地のコンサートに出演している。2017年、1st アルバム『紅い木のうた』をリリース。2022年 第9回国際口琴大会(ドイツ)日本・台湾代表、2024年 Seoul Music Week (韓国)日本代表として出演。タイヤル族クレオール言語による自作曲が評価され、台東詩歌節(台湾)に招聘。舞台作品としては、音楽詩劇研究所『黒潮プロジェクト 台湾〜与那国〜濟州島』ソリスト、李清照私人劇団 感傷動作派によるジャズ歌仔戲二人芝居『曹七巧』出演のほか、演劇作品『フォルモサ!』(Pカンパニー/2025年)ではドラマトウルク・音楽を担当、舞台上での歌唱パフォーマンスも行う。その他、あいちトリエンナーレ、豊岡演劇祭、世界演劇祭(ドイツ)(Q/市原佐都子『パッソスの信女』)、LANDFES 熱海、スクランブル・ダンスプロジェクト(障がい者とプロダンサーによるインクルーシブダンス)などに出演。2025年7月、初のソロ作品となるEP『まーらんカンパニー』(MIDI)リリース。8月 Aza Roots 1st アルバム『Aza Roots』リリース。歌手としての活動と並行して、言葉による表現にも力を注ぎ、家族の記憶や先住民族の言語文化を題材としたエッセイの執筆を継続。国内外の講演・トークイベントにも多数登壇し、国際的な文化交流の担い手としても活動している。台湾では、「原住民アーティストがいかに世界で活動を展開しているか」をテーマに、実践的な講演やトークセッション、ラジオ出演などを通じて発信。音楽と言葉の両面から、ルーツの継承と未来への表現を追求している。

<https://linktr.ee/berrilliao>